

全私研に初めての参加にも関わらず、発言者という大役を担うことになりました。「学費問題・私学助成」の分科会に参加し、「コロナ禍でも諦めない 今年度の私学助成署名の取り組み」として大東学園の活動を紹介しました。

大東学園は生徒・教員・保護者の三者協議会と私学助成署名を二本柱として活動しています。私が所属する公費助成渉外部は、私学助成署名活動の推進と署名集約、東京父母懇談会等と交流し、国会や都議会への要請活動もおこなっています。

昨年度の活動で特筆すべきことは、生徒が中心になり企画、制作した署名 PR 動画の作成です。テレビのニュース番組の特集風にし、なぜ署名に取り組むのか、自分の言葉で訴え、とても分かりやすい動画です。クオリティも高く、大変よい作品となりました。今年度の公費助成渉外部の第一回目の部会でも上映しました。署名取組みの説明をするよりも、動画を見たほうがわかりやすいです。昨年度は、コロナ禍で思うような活動ができない中、何ができるかを考えてきました。コロナが収束しない中、しばらくは活動の制限を強いられますが、そうした中でも諦めずに歩みは進めなければなりません。

全私研に参加し、全国のみなさんの頑張りに励まされました。大東学園では、駅頭署名を中止してしまいましたが、駅頭署名を4回も実施された学校があった事には「すごい！」の一言です。町の文化祭に参加し署名活動をされた事、高校生フェスティバルの開催等々、みなさんの活動を聞くことができ大変良かったです。うちも頑張ろう、と思いました。ただ一つ残念だったことは、リモートです。同じ空間にいてお話を聞けたら、もっと感じ方が違い良かったかな…と思います。

第一回目の署名集計数は、2620 筆です。毎年、集める署名は目標数を下回っていますが、今年こそは目標を突破したいと思います。

大東学園東和会 私学助成担当代表 新沼敦子